

| | |
|-----------|---------------------------------|
| 学 校 名 | 品川区立大原小学校 |
| コーディネーター数 | 学校地域コーディネーター1人、アシスタントコーディネーター1名 |
| ボランティア数 | 124人 |

活動の概要

大原小学校では、学校支援地域本部を立ち上げ、地域住民や保護者を中心としたボランティアが下記のような様々な教育活動の支援を行っている。本部の名称は学校関係者に親しみやすいように「ふるさと大原支援本部」と名付けている。

品川地域未来塾：基礎学力補充のための放課後学習会や英検に向けての学習会（大原英検チャレンジ）

オリンピック・パラリンピック教育支援：交流5か国に関わる掲示物の作成と掲示

校外学習・学校行事支援：生活科見学（低学年）の安全指導、スポーツテスト補助

校内環境整備：季節に応じた学校掲示板の作成と管理、図書館内整備

朝の健康スポーツタイム：毎朝のスポーツ健康タイムの指導員募集や児童指導補助



【品川地域未来塾の様子】



【交流5か国に関わる掲示物】



【ボランティア活動の様子】

コーディネーターの役割

年度初めに、教職員との打ち合わせにより、学校の教育活動に必要な支援業務を把握する。その上で、学校が求める支援に対応したボランティアを募集し、登録を行う。登録をしたボランティアとは、年間を通して連絡・調整を行いながら、学校の教育活動の支援を行う。また、品川地域未来塾については、学習内容に応じた講師の募集を行う。

活動上の工夫や配慮等

- ・品川区の非常勤職員である学校地域コーディネーターが学校とボランティアとの間で連絡・調整等を行い、効率的な支援活動を実現している。
- ・ボランティアには、教育活動の支援を開始するのに際して、校長からその活動の教育的な意義についての説明を必ず行う。

活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

- ・品川地域未来塾（大原英検チャレンジ）参加児童の感想：「私は、英検チャレンジに参加して、リスニングが以前よりもできるようになってきた。将来、外国の人と話す機会があったら、今回学んだことを生かし、自信をもって会話をしていきたい。」
- ・地域ボランティアの声：「学校の掲示物作りに協力をできることにやりがいを感じる。子供たちの環境を良くすることや先生方が喜んでくれるのがうれしい。」
- ・教職員の声：「多くのボランティアの方々には支援していただきとても助かる。授業の準備や児童と関わることに専念できる。多忙化改善にも結びつく。」